

# 建設産業Q&A

建設産業の世界で働くうえで気になる、「素朴な疑問」を集めました！

Q 建設産業にはどんな仕事があるのですか？

A

工事の施工・品質・安全を管理する「施工管理者」と呼ばれる職種と、実際に建設作業を担う「技能者」と呼ばれる職種が協力して、建設工事を進めています。また、工事に入るまえに現地の状態を調べる「測量」「地質調査」、工事をするための「設計」など、インフラ整備のための調査や計画作りなどを担う「建設コンサルタント」という仕事もあります。

Q 土木、工学系の学部や学科を卒業しないと就職できませんか？

A

そんなことはありません。学生時代は異なる分野の勉強をしていた先輩方もたくさんいます。また、建設産業の世界には、実際に工事現場で働く仕事ばかりではなく、営業、経理、事務といったさまざまな事務系の仕事もたくさんあります。

Q 建設産業ではどんな資格があるのでしょうか？

A

代表的なものでは、工事現場の施工管理を行うための資格として、「施工管理技士」という資格があり、さらに「土木」「建築」「電気」「造園」といった専門分野に分かれています。そのほか、建築に関わるものとして「建築士」、各専門分野ごとの「技術士」という資格があります。また、専門的な技能を持ち、技能検定で合格することで得られる「技能士」という資格もあります。

Q 建設産業に関わる会社はどのくらいあるのですか？

A

建設業法という法律で定められた建設業許可を持つ会社（個人事業主も含む）だけでも、宮崎県内に4,300社近くあります。建設業許可を持たなくても一定の金額未満の軽微な工事は請け負うことができますし、測量・設計や地質調査、資材販売、運搬、警備業など、建設産業には多くの業種が含まれますので、その数は非常に多いということになります。

Q

建設産業で働いている人はどのぐらいいるのですか？女性の方も多いのでしょうか？

A

建設産業のうち「建設業」については、宮崎県内で43,763名の方が働いていますが、うち女性の方が6,519名です。日本全国では4,341,338名（うち女性が691,776名）の方が働いています（※）。

このガイドブックには実際に建設産業の世界で活躍する方々の声を多数掲載していますが、そのなかでも女性の方が多数登場しています。

※平成27年国勢調査

Q

入社後はどんなふうに成長できるのでしょうか？

A

会社ごとに、さまざまな人材育成のしくみを持っていますが、最初は先輩社員についてOJT形式（実務を通じた教育訓練）で仕事を覚え、数年かけて経験を積みながら、仕事をしていく上で必要な専門資格を取り、工事の現場で指揮をとる立場になっていくケースが多いようです。資格取得のための費用を会社が負担している場合もあります。

なお、このガイドブックでは、各社の人材育成やキャリア形成イメージについても記載していますので、参考にして下さい。

Q

建設産業の給与はどのぐらいですか？

A

建設産業には多くの業種が含まれますし、会社によって異なるため一概には言えませんが、参考に、「建設業」での令和元年の統計調査（※）によると以下のとおりです。

高卒初任給：164,800円（全産業／宮崎県：155,200円 建設業／全国：176,100円）  
大卒初任給：188,100円（全産業／宮崎県：188,000円 建設業／全国：216,700円）

なお、このガイドブックでは、初任給や将来の給与・年収等について掲載している企業もありますので、参考にしてください。  
※賃金構造基本統計調査（厚生労働省）

Q

ちゃんと休みは取れるのでしょうか？

A

勤務日や休日は会社によって異なりますが、建設産業の世界でも週休2日制が浸透しつつあります。また、工事現場の安全にかかわるため、一日のなかでも十分な休憩時間をとりながら、残業も少なくなるよう工夫している会社も増えています。このガイドブックでは、さまざまな企業の勤務時間や休日についても記載しているので、ぜひ眺めてみてください。